

季節風

2016. 5. 2
NO.4

山鹿市立鹿北中学校
文責：郡 一路

生徒会活動の充実に向けて

今年の鹿北中学校は、生徒会活動に特に力を入れていきます。学校教育目標にも「自治力育成となまかつくり」と



なかで、新たな鹿北中を創りあげていきたいと思えます。

かかげ、生徒の「自治の力」によって、学校をさらに発展させてほしいと願っています。勉強もスポーツも文化的な活動も、そして、行事でも新たな発想で、今まで以上に充実させてくれることを期待しています。そこで、生徒会長の北原詩音君に、今年度の抱負を語ってもらいましたので紹介します。

また、挨拶や返事も、全校生徒が、大きな声で当たり前でできて、地域の方々からも『鹿北中、すごい』と言われるようになりたいです。

「今年の一歩のテーマは、『個性』という言葉だと思うので、まずは『自分の個性』を、いろいろな所で発揮したいと考えています。」

僕たちの先輩方が、鹿北中の伝統を受け継いでこられたので、僕たちは、もっと上を目指して、みんなが今まで以上に、『行きたい』とか、『楽しい』と思える学校を創っていきます。」

さらに、自分だけでなく、みんなで協力し合い、みんな

北原君を中心に、生徒会活動がどのように行われるのか楽しみです。

☆あいさつの輪広がる☆

昨年2学期から、サッカー部の生徒が、朝の挨拶運動を始めてくれました。とても元気よく挨拶する一人ひとりの姿が、さわやかであり、頼もしく見えました。そして、その後、挨拶の輪は、バスケットボール部、硬式野球の生徒、生徒会執行部、弓道部、野球部へと広がっています。

鹿北中の生徒の挨拶が、地域の人と人をつなぎ、町の人が元気になる、そんな挨拶の輪を期待しています。

市中学校生徒会共通行動宣言

繋がる広がる挨拶

～地域への感謝・思いやり・

活性化に努める～



一年生へのメッセージ

〈勉強と部活動の両立〉

二年 北原 結

私が一年生の時、一番きつかったと感じたことは部活動です。部活動に行く前は、いつもドキドキしていました。

部活動で先生から厳しいことを言われたり、自分の思うようにボールが上がらなかつたり、とても悔しかったです。

想像以上に練習もきつく、家に帰ると、家庭学習で自学二ページをやらなさいといけなしいし、泣きながらすることもありました。親に、「部活動をやめたい。」と言ったこともありました。

でも、友だちや家族、先生

方の支えがあって、バレーボールを続けてこられました。

家庭学習も、友だちの自習を参考に時間を決めて取り組めるようになりました。

私は、バレーボール部に入って本当によかったなあと今感じています。

一年生大会は、鹿北・鶴城・菊鹿の合同チームで出場しました。一試合目は負けてしまいましたが、二試合目は勝ちました。とてもうれしかったです。一年生大会は、とてもよい思い出となりました。

一年生の今の時期は、つら

いこともあったけれど、友だちや親に相談しながら乗り越えてきました。

一年生のみなさんもきついきつがあっても友だちや、家族に相談しながら、頑張ってください。



〈熊本地震募金〉

3万3614円
(3日間合計)

集まったお金は、被災された方々のために使っていただきます。ご協力ありがとうございました。